



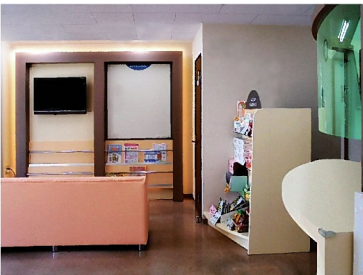
## ARCHTECTURE REVIEW



### 建築見て歩記 その56

「蒲州市戦没者慰霊平和塔」です。これは、建築ではなくモニュメントですが、黒川紀章氏の設計により1977年に完成しました。原設計では塔のまわりに、水が張られた「水盤」がありましたが、現在は管理上の問題からか、水は抜いてあります。ここでの、公園内のアプローチから「ゲート」をくぐり、塔を見上げる動線計画は、正に建築的な手法です。

## CURRENTLY WORKS



### 調剤薬局の部分改修—投薬カウンターと待合

待合の椅子を更新したい…という要望から始まりましたが「収納の整理」「患者様の向き」「カウンターのコロナ対応仕様」などの問題点を指摘し部分改修を行う事になりました。投薬カウンターは調剤室側に曲げられ患者様の視線が向く壁面には、テレビ・パンフ類・掲示板機能を持ったアーチ型家具を設置しました。患者様にも前より広くなったと好評です。

## PRIVATE TOPICS



### 藤原のこだわり その12

京都の「高山寺」です。山深いまさに高山に位置する寺院で、名前も立地状況からきています。有名な国宝の「石水院」、日本最古の茶園「鳥獣人物戯画」など話題が多い寺院としても有名です。遺香庵という庭園がありますが、むしろ境内全体が山と一体化しており、建物が庭の一部かのように見えるところが他とは違ったスケールと威厳を感じます。

## EDITIONAL NOTE

3月には「春分の日」があり、この日の前後3日間を含めて「彼岸」と言います。これは、「秋分の日」でもまったく同じで、太陽が真西に沈む時期に、先祖を供養するという習慣ですが、実は、本来の仏教にはない日本独自の風習です。蛇足ですが「ぼた餅」と「おはぎ」は同じ物で、春には牡丹、秋には萩だそうです。

編集担当：太田・藤原